

ブラジャーの設計に関する基礎研究(第4報)

—モアレ法による動作時の胸部形態の把握—

山田家政短大 ○白石寿子 京女大家政 土井サチヨ 福井弥生

畠山絹江 藤田仁美 滋賀女短大 奥村重 大下学園女短大 田中麻佐子

目的 前報に引き続き、本報ではモアレ写真の画像解析により、動作時にみける胸部の形態変化を年代別、カップサイズ別に検討した。

方法 撮影時期、被験者、撮影条件については第3報と同様である。乳房部を中心とした動作時の形態を把握するため有効と考えられる上肢上挙・側挙・後挙の各動作時にみける、乳頭中心と前面の写真を用いて検討した。すなわち、垂直切断図・水平切断図を描き、乳底の長さ、乳房の高さ、乳房の曲率角度などについて静止時と比較し、形状の変化を考察した。

結果 ①動作による形状変化を、垂直切断図では下部胸囲位、水平切断図では乳頭点をあわせて重合して比較すると、水平方向より垂直方向の変化が大きいことがわかった。

②垂直・水平両切断図形の動作による変化は、乳底の長さでは水平方向より垂直方向の変化が大きい。乳房の高さは垂直・水平両方向とも変化がみられる。

③乳底形状を長円と仮定し、各動作時の縦に対する横の比率を比較すると、上挙・側挙時は静止時より円に近づく。カップサイズ間の差はみられない。